

学校教育目標

児童が主役、未来に向かってたくましく生きる力の育成

学校組織目標

研修を充実させ、授業力の向上に努める

御所ヶ丘中学校区  
「目指す児童生徒像」

子ども

学校

地域・家庭

01

確かな学力の育成

主体的に粘り強く学ぶ児童生徒



○自ら課題を設定し、ICT機器を有効に活用しながら、他者と協働して課題解決に取り組む。  
○相手を認める話し合いの仕方を学ぶことや振り返りを充実させることで、自律的な学習サイクルを身に付ける。

○「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させ、主体的・対話的で深い学びを実現する授業改善を推進する。  
○児童が自ら選択・判断できる場面を学習内に意図的に設定し、主語が「子ども」になる授業を展開する。

○児童が自ら進んで家庭学習や読書に取り組めるよう、学習に集中できる環境を整え、温かく見守る。  
○学校の教育活動(学習ボランティアやゲストティーチャー等)に協力し、地域全体で確かな学力の定着を支える。

■目標値:児童アンケート「自分から進んで学習に取り組んでいる」「振り返りを次の学習に生かしている」の肯定的回答90%以上

02

豊かな心を育む  
教育の推進

寛容でたくましい心の児童生徒



○「人は一人一人考えが違って当たり前」という前提のもと、他者の意見や違いを排除せず、対等な存在として尊重する。  
○自他のよさを認め合い(他者受容・自己受容)、自分に自信をもって(自己効力感)、対話を通じた合意形成を図ることができる。

○「人を大切に」をキーワードに、SSTやATを活用しながら、多様な意見を受け入れ合える心理的安全性の高い学級(心の安全基地)をつくる。  
○道徳や体験活動等において、正解が一つではない課題に対し、多様な他者と協働して解決策を見出す経験を積ませる。

○家庭を「心の安全基地」とし、子どもの存在を丸ごと受け入れ、自己効力感を高めるポジティブな声かけを行う。  
○地域の多様な年代の人々との交流を通して、思いやりの心や寛容性を育む機会を大切にす。

■目標値:児童アンケート「自分にはよいところがあると思う」「自分と違う意見も大切にしている」の肯定的回答90%以上

03

健やかな身体を育む  
環境の充実

健やかな身体づくりに励む児童生徒



○自らの健康や安全について考え、自律的に基本的な生活習慣(早寝・早起き・朝ごはん、メディアコントロール等)を整える。  
○進んで運動に親しみ、自他の命と安全を守る行動(交通ルールの遵守など)を責任をもって実践する。

○体育の授業や外遊びを通して運動の楽しさを味わわせるとともに、サーキットトレーニングや投力アップトレーニングを行うことで生涯にわたって運動に親しむ素地と体力を育成する。  
○「いじめ見逃しゼロ」を徹底するとともに、防災・防犯教育を推進し、身体的・精神的に安全・安心な学校づくりを行う。

○規則正しい生活習慣の定着に向けて、SNS等の使い方を遵守するとともに、家庭内でルールを話し合い自律的に実行する。  
○登下校の見守り活動等に積極的に参加し、地域全体で子どもの命と安全・安心な環境を守る。

■目標値:児童アンケート「基本的な生活習慣が身に付いている」の肯定的回答90%以上 / 体力テストの総合評価A+Bの割合 60%以上

04

地域とともにある  
学校づくり

地域を大切にする児童生徒



○地域社会の一員としての自覚をもち、地域の良さを発見し、進んでボランティア活動や地域行事に参加する。  
○地域や社会の課題に目を向け、他者と協働しながら社会をより良くしていくことと自ら考え、行動する。

○地域人材や関係機関の協力を得た体験活動を充実させ、社会とつながり、実社会で生きる力を育む教育課程を編成する。  
○学校HP等を活用した積極的な情報発信を行い、家庭・地域との信頼関係に基づいた協働体制を構築する。  
○校務のDX化など教職員の働き方改革に組織的に取り組み、教職員が心身ともに健康で児童と向き合う時間を確保し、教育の質の向上を図る。

○学校運営協議会等を通して、当事者意識をもって学校の教育活動や教育課題の解決に参画・協働する。  
○学校行事や地域の教育活動へ積極的に参加し、地域と学校が一体となって子どもを育む機運を高める。  
○教職員が子どもと向き合う時間を確保するための働き方改革(電話対応時間への配慮やデジタル連絡網の活用など)の趣旨を理解し、協力する。

■目標値:地域人材を活用した学習活動等の実施回数(年間5回) / 学校評価アンケート(地域連携)の肯定的回答90%以上